

Title	近世スペイン神学思想がドイツ哲学に及ぼした影響に関する倫理学的研究
Sub Title	A study of the influence of Spain mysticism on early modern German philosophy
Author	山内, 志朗(Yamauchi, Shiro)
Publisher	慶應義塾大学
Publication year	2018
Jtitle	学事振興資金研究成果実績報告書 (2017. )
JaLC DOI	
Abstract	<p>中世末期の14世紀以降, エックハルトを中心とするドイツ神秘主義思想は, フランドル地方, 北方ドイツを中心として大きな影響力を及ぼした。そういった神秘主義は, 都市における手工業職人を中心とする新興市民に受容され, 16世紀の宗教改革につながる潮流を育てていった。そこでの思想的特徴は, 神との神秘的一体化を目指すという瞑想中心の非活動的なものとして捉えられがちだが, 実際には, ローマカトリック教会の管理宗教の桎梏を脱し, 自分たちで聖書を読み, 神と内面において一体化し, 同時に日常生活においては勤労に励むという, 外面においては活動的な信仰形態であった。13世紀以降, 技術, 商業, 工業, 貿易, 金融などの面において, 様々な革新が生じ, 近代につながる胎動が開始するが, 13世紀以降の神学思想は, 営利活動の肯定, 世俗的活動への専心, 自由の強調, 個人の重視など, 近代の思想の起源となる発想を様々な生み出している。フランシスコ会の清貧思想が勤勉に結びつくパラドックスを抱えていたように, 神秘主義もまた, 内面への沈潜ばかりでなく, 積極的な活動を推し進めるというパラドックスを抱えていた。今年度は, 3冊の単著, 1冊の編著などを発表した。直接関連するのは, 編著である『光の形而上学』(慶應義塾大学出版会)。言語文化研究所における山内が代表となったプロジェクトの研究成果を論文集としてまとめたものである。他にも『湯殿山の哲学』(ぶねうま舎), 『目的なき人生を生きる』(角川新書)などを刊行したが, 中世の神秘主義の系譜をたどり, 現代や日本の思想との比較を試みたものである。</p> <p>In this research, I tried to make clear the impact of the mysticism which originated from medieval German theologian, Meister Eckhart. His mysticism had a considerable influence on modern philosophy as well as Martin Luther's theological thought. Mysisicism in medieval period was never meditative and inactive, but industrious and energetic. Medieval followers of Eckhart were almost beguines and beghards (Free Spiriti Heresy in early fourteenth century) . They were the common people and eager to find the new moral which supported profit-making activities. Late-medieval nominalism represented , in some respect, this new tendency. Mysticism, had much to do with this ethos. In this year, I published three books, which are closely related with aforementioned topics, and made clear these themes.</p>
Notes	
Genre	Research Paper
URL	<a href="https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2017000001-20170133">https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=2017000001-20170133</a>

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

研究代表者	所属	文学部	職名	教授	補助額	200 (B) 千円
	氏名	山内 志朗	氏名 (英語)	YAMAUCHI Shiro		
研究課題 (日本語)						
近世スペイン神学思想がドイツ哲学に及ぼした影響に関する倫理学的研究						
研究課題 (英訳)						
A study of the influence of Spain mysticism on early modern German philosophy						
1. 研究成果実績の概要						
<p>中世末期の 14 世紀以降、エックハルトを中心とするドイツ神秘主義思想は、フランドル地方、北方ドイツを中心として大きな影響力を及ぼした。そういった神秘主義は、都市における手工業職人を中心とする新興市民に受容され、16 世紀の宗教改革につながる潮流を育てていった。そこでの思想的特徴は、神との神秘的一体化を目指すという瞑想中心の非活動的なものとして捉えられがちだが、実際には、ローマカトリック教会の管理宗教の桎梏を脱し、自分たちで聖書を読み、神と内面において一体化し、同時に日常生活においては勤労に励むという、外面においては活動的な信仰形態であった。13 世紀以降、技術、商業、工業、貿易、金融などの面において、様々な革新が生じ、近代につながる胎動が開始するが、13 世紀以降の神学思想は、営利活動の肯定、世俗的活動への専心、自由の強調、個人の重視など、近代の思想の起源となる発想を様々な生み出している。フランシスコ会の清貧思想が勤勉に結びつくパラドックスを抱えていたように、神秘主義もまた、内面への沈潜ばかりでなく、積極的な活動を推し進めるというパラドックスを抱えていた。今年度は、3 冊の単著、1 冊の編著などを発表した。直接関連するのは、編著である『光の形而上学』（慶應義塾大学出版会）。言語文化研究所における山内が代表となったプロジェクトの研究成果を論文集としてまとめたものである。他にも『湯殿山の哲学』（ぷねうま舎）、『目的なき人生を生きる』（角川新書）などを刊行したが、中世の神秘主義の系譜をたどり、現代や日本の思想との比較を試みたものである。</p>						
2. 研究成果実績の概要 (英訳)						
<p>In this research, I tried to make clear the impact of the mysticism which originated from medieval German theologian, Meister Eckhart. His mysticism had a considerable influence on modern philosophy as well as Martin Luther's theological thought. Mysticism in medieval period was never meditative and inactive, but industrious and energetic. Medieval followers of Eckhart were almost beguines and beghards (Free Spiriti Heresy in early fourteenth century). They were the common people and eager to find the new moral which supported profit-making activities. Late-medieval nominalism represented, in some respect, this new tendency. Mysticism, had much to do with this ethos. In this year, I published three books, which are closely related with aforementioned topics, and made clear these themes.</p>						
3. 本研究課題に関する発表						
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)			
山内志朗	単著『湯殿山の哲学』	ぷねうま舎	2017 年 7 月			
山内志朗	単著『目的なき人生を生きる』	角川書店	2018 年 2 月			
山内志朗	単著『過去と和解するための哲学』	大和書房	2018 年 3 月			
山内志朗(編著)	『光の形而上学』	慶應義塾大学出版会	2018 年 2 月			